



HAGIWARA  
TIMES

Vol. 19  
2018. 12

道道増毛稻田線 妹背牛橋架替(P5下部工)工事 / ナイタイ高原牧場レストハウス建設工事



## 道道増毛稻田線 妹背牛橋架替(P5下部工)工事



- 工事名：道道増毛稻田線 妹背牛橋架替(P5下部工)工事

- 進捗率：73.0%(30年10月20日時点)

- 施工業者：岩田地崎・田中・萩原特定建設工事共同企業体

- 施工場所：北海道深川市音江町

- 発注者：北海道空知総合振興局 札幌建設管理部

- 施工期間：平成29年10月23日～平成31年3月20日

主要道道増毛稻田線は、増毛町の国道231号線と深川市音江町稻田の国道12号を結ぶ延長54.4kmの幹線道路であり、流通経路生活道路として重要な路線です。当該橋梁は架設から59年経過し、河床の低下により橋梁の安定性が喫緊の課題となっています。また、交通量の増加、車両の大型化などにより、部材の損傷が進行し易い環境となっているほか、幅員が狭小である為、大型車のすれ違いが困難で、自動車等の通行が危険な状況にあります。これらの課題を解消し、安全・安心な通行を確保する為、妹背牛橋の架替を実施するものであり、本工事はニューマチックケーソン工によるP5橋脚を施工しています。今後、7ロットの構築や仮固定工、築島および仮橋・仮桟橋の解体が控えていますが、引き続き安全作業で施工していきます。

当社配置主任技術者：早川 剛史

# 土木



## ナイタイ高原牧場 レストハウス建設工事



- 工事名：ナイタイ高原牧場レストハウス建設工事
- 施工場所：北海道河東郡上士幌町字上音更128番地
- 進捗率：95.0%(30年11月10日時点)

- 発注者：上士幌町長 竹中貢
- 設計：日本都市設計・ズコーシャ・都市整備コンサルタント特定委託共同企業体
- 施工業者：萩原・橋内・米倉経常建設共同企業体

- 施工期間：平成30年4月18日～平成30年11月30日
- 規模：鉄筋コンクリート造 敷地面積9955.50m<sup>2</sup>／建築面積634.64m<sup>2</sup>／延べ床面積470.10m<sup>2</sup>

本工事は、強風や大雪など自然の猛威が相次いだ2015年に全壊した既存のナイタイ高原レストハウスの建て直しの工事です。以来、プレファブの仮設建物で今シーズンまで営業しておりました。全壊した建物は山小屋然とした木造でしたが、今回は鉄筋コンクリート造の頑丈なレストハウスです。杭の製造期間が2ヶ月間あり実質5ヶ月間の短い工期、標高800mの特殊な環境での建設、胆振東部地震の被災と、ハードな工事でした。私は写真が趣味で自然に目を向ける事が多いのでナイタイ高原の風景にすっかり魅了されました。約半年間、毎日撮影をしました。工期の心配が無ければ、私にとって最高の工事でした(笑)そんなナイタイ高原の素晴らしい景色と美味しい食事が同時に楽しめる素晴らしい施設です。グランドオープンは来年6月3日、先行オープンは4月27日予定です。

ナイタイ高原は十勝を代表する観光拠点の一つです。来年の初夏をお楽しみに!

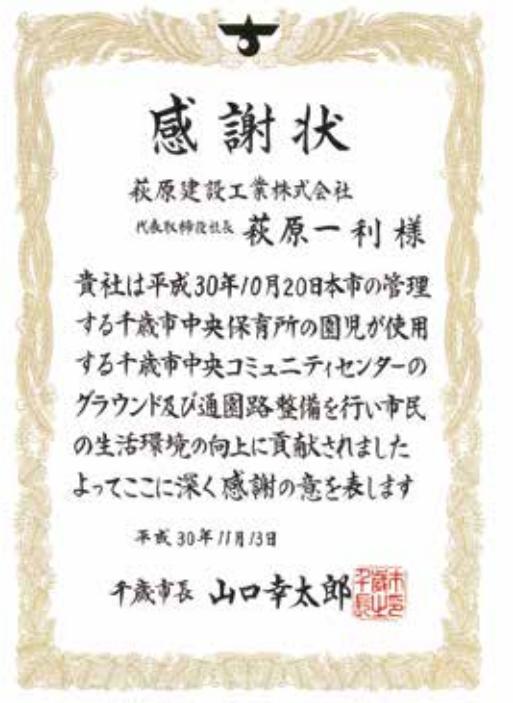
現場代理人：仁藤 正憲



# 建築

TOPICS!!  
Vol. 19

# 千歳市より感謝状をいただきました!!



この度、千歳市より萩原建設工業及び石山組の合同で実施した千歳市中央コミュニティセンターのグラウンド整備等の活動が評価され感謝状をいただきました。

この活動は、札幌開発建設部発注の『道央圏連絡道路千歳市中央北改良工事』を萩原・石山組JVで受注している縁で地域貢献活動を計画し、千歳市に相談していた所、いろいろな箇所が挙げられた結果、現場に隣接していることもあり地元保育所の園児が使用する千歳市中央コミュニティセンターのグラウンド及び通園路整備を行うことに決定しました。活動は10月20日に実施し、1日がかりで生い茂った雑草の除去をした後、ローラーで転圧して仕上げ、園児らが安心して走り回れる環境を整えました。

感謝状は11月13日、千歳市役所で行われ弊社から萩原専務取締役、石山組様からは石山社長が授与式に出席し、感謝状を頂くことが出来ました。また、千歳市からは「地域住民の願いをかなえていただき大変感謝している」とのお言葉をいただき、今後の活動を行う原動力となりました。

萩原建設工業 Facebookページは随時更新中!! こちらのQRコードより是非チェックしてみてください!!



## 今月の表紙

撮影:萩原建設工業 建築部・仁藤 正憲

2018年もいよいよあとひと月です。今年は11月中旬に旭川・稚内・網走で初雪を観測し平年より20日以上遅い雪の便りでした。弊社のある十勝はもともと晴天率が高く冬は放射冷却が進み、日が沈む頃には写真の様に冷気が地表面を覆い美しい光芒が目を楽しませてくれることもあります。厳しい寒さの冬がやってきますが私のように写真が趣味の者には、実は楽しみな季節でもあります。信じられないような美しい情景を十勝の冬は魅せてくれます。ぜひ冬の十勝に遊びに来てほしいです。



## 「毎日の食生活」を応援します

毎日が新鮮で素敵な笑顔で過ごせるようにあなたのそばにダイイチ。



〒080-2470 帯広市西20条南1丁目14番地47 TEL 0155-38-3456 FAX 0155-38-3434



2018年12月号 / HAGIWARA TIMES vol.19 本誌記載の記事に関するお問い合わせならびに引用に関しては当社営業部までご連絡ください。またバックナンバーは当社HPよりご覧ください。

萩原建設工業株式会社

〒080-0807  
北海道帯広市東7条南8丁目2

TEL.0155-24-3030

<http://www.hagiwara-inc.co.jp/>